

自然観察会報告
桶ヶ谷沼ベッコウトンボ観察会
横山謙二



ベッコウトンボ

5月1日磐田市の桶ヶ谷沼にて、絶滅危惧種として知られるベッコウトンボの観察会を行いました。ベッコウトンボは、日本では静岡県、山口県、九州に分布していますが、静岡県内では、この桶ヶ谷沼周辺のごく限られた地域しか見られないトンボで、私はまだ見たことがなかったのが楽しみしていました。あまりに楽しみにしていたため、集合時間の2時間前に到着してしまい、時間ももたないのので、いっしょに来た渡辺さんと先に下見をしに行きました。しかし、どこに行けばベッコウトンボがいるかわからないので、カメラをもった人が行った方向に進みました。

やがて無事にベッコウトンボがいるところに着きました。そこは、水槽コンテナがたくさん置いてあるところで、その周りをベッコウトンボなどのトンボが飛び交っていました。後で聞いたのですが、ここはアメリカザリガニなどの外来種から守るため、人工的に水槽コンテナでトンボを増殖しているとのことでした。

早速、ベッコウトンボを見つけ、写真を撮りました。まだ朝早く、人が少ないので、十分に観察することができました。

ようやく、集合時間近くになり、集合場所の桶ヶ谷沼ビジターセンターにもどり、参加者の皆さんと合流し、観察会本番を迎えました。観察会は、まずビジターセンターの館長に挨拶そして施設等の説明をしていただき、その後、案内者の福井先生より、ベッコウトンボの説明をしていただきました。



ヨツボシトンボ

先生によると、ベッコウトンボはかつては、宮城県以南各地の200箇所ほどに分布がみられたのですが、生息地の平地や丘陵の池沼や湿地が、開発や環境悪化により、近年各地で減少・絶滅が相次ぐようになったそうです。

説明後、参加者の皆さんと再び桶ヶ谷沼に向かいました。

始めに、先に見学した水槽コンテナのところに向かいました。先に見学した時は、気づきませんでしたでしたが、ベッコウトンボの他に、あまり見ることができないヨツボシトンボも多く見ることができました。また、羽化したてのベッコウトンボや幼虫の抜殻なども見ることができました。

その後、普段は入れないルートを通り、ベッコウトンボを守るために試みていることなどを先生に説明してもらい、桶ヶ谷沼を1周して午前の観察会は終了しました。

午後は先生の案内で、近くの鶴ヶ池の方に行き、この時期にしか見れないトラフトンボを探しに行きました。午後は、風が強く、トンボはあまり飛んでいませんでしたが、最後になんとか、トラフトンボが飛んでいるところが観察できました。

やはり桶ヶ谷沼・鶴ヶ池は、トンボの王国です。県内であまり見ることができないトンボが見れて、とても楽しい観察会でした。今度は夏や秋に来て、別のトンボを観察するのも面白いかもかもしれません。